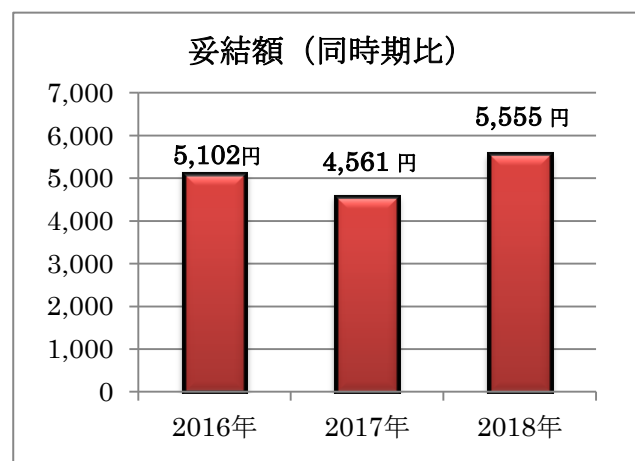
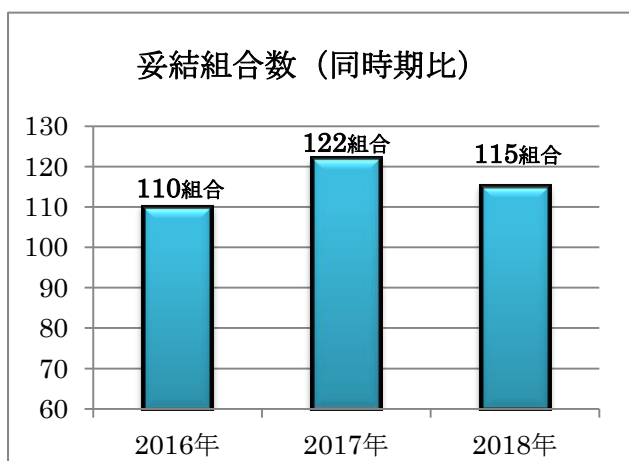
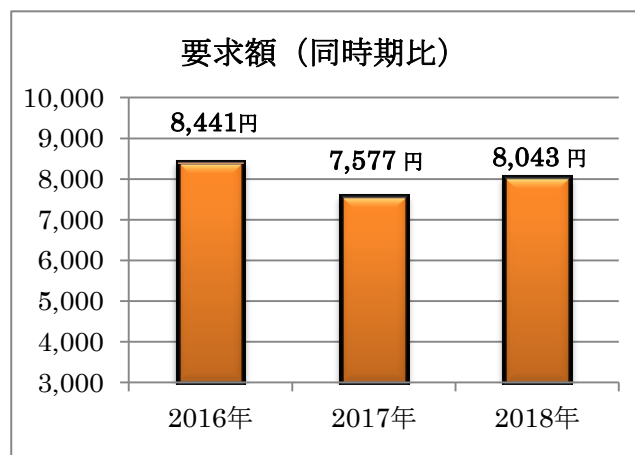


妥結率2%台を維持！流れは力強く継続！

2018春季生活闘争における5月31日時点の要求・妥結状況は、**要求組合数は143組合**で**昨年同時期比12組合減**、**妥結組合数は115組合**で**昨年同時期比7組合減**、**要求額(加重平均)は8,043円**で**昨年同時期比466円増**、**妥結額(加重平均)は5,555円**で**昨年同時期比994円増**、**妥結率(加重平均)は2.22%**で**昨年同時期比+0.47%**となっています。月例賃金の引き上げにこだわり「底上げ・底支え」「格差是正」をめざして取り組んだ結果、中小労組においても2%台の賃上げを確保している状況が続いています。連合秋田は、「底上げ春闘」を貫徹すべく、構成組織と緊密に連携し、未解決組合支援に全力を尽くしてまいります。

	要求組合	妥結組合	要求額 (加重平均)	要求率 (加重平均)	妥結額 (加重平均)	妥結率 (加重平均)
2016. 5. 31	154	110	8,441 円	3.46%	5,102 円	1.91%
2017. 6. 1	155	122	7,577 円	3.31%	4,561 円	1.75%
2018. 5. 31	143	115	8,043 円	3.83%	5,555 円	2.22%
増減(17年対比)	-12	-7	+466円	+0.52%	+994円	+0.47%



6月 は 連 合 男 女 平 等 月 間 秋田労働局雇用環境・均等室へ要請行動！

連合秋田女性委員会は、男女平等月間（6月）の取り組みの一環として、秋田労働局雇用環境・均等室へ「雇用における男女平等」に関する要請書を作成し、6月6日（水）に要請行動を展開した。

冒頭、連合秋田・藤井事務局長から要請の趣旨を含め挨拶した後、女性委員会・今野副委員長から秋田労働局・鈴木雇用環境・均等室長へ要請書を手交した。その後、今野副委員長と小林事務局長から仕事と育児・介護が両立できる職場環境の整備や女性活躍推進法に基づく行動計画の策定・届出が義務付けられていない300人以下の企業への積極的な情報提供や、雇用環境・均等室の相談体制の強化など9項目の要請内容の説明を行った。

要請に対し雇用環境・均等室長からは、少子高齢化・人口減少が急激に進む本県においては女性の活躍推進が大変重要な課題であることや「全国ハラスメント撲滅キャラバン」と銘打ち県内の監督署ごとに事業主を対象とした説明会の実施や、労働者や企業の担当者からの相談に対応する「ハラスメント対応特別相談窓口」を開設するなど、今年度の取り組み内容の説明がされた。



震災を風化させない！連合秋田「復興の森」

6月2日（土）宮城県名取市において、連合秋田構成組織・地域協議会、労福事業団体から役員・組合員30名が参加し、2014年に植栽をした『連合秋田 復興の森』の保育作業を行った。

連合秋田は、環境問題を重要な運動課題と位置づけ、植樹や下刈り作業を通じ、森林の持つ多面的機能への理解や自然環境保全を目的とした「連合秋田の森」を森林労連秋田県協議会をはじめ関係各位のご協力を得て、1992年に大仙市協和に設置して以降、植樹や下刈り保育作業を行い、2013年に「第3次の森」の保育作業を終了。2014年、「連合秋田の森」事業と東日本大震災からの復興・再生の取り組みを連動させ、東北森林管理局が東日本大震災により被災した海岸防災林の再生に取り組む「『みどりのきずな』再生プロジェクト」に参画し、継続的な復興支援と環境問題・森林保護の重要性を考える『連合秋田 復興の森』を開設している。

植樹した苗木が将来立派な防災林となるよう今後も保育作業に努めるとともに、連合秋田が出来る継続的な復興支援、また、震災を風化させない取り組みとして、『連合秋田 復興の森』事業を展開していく。

